



JAM顧問

宮本 礼一

わが国の中小企業は、優れた技術技能により高い品質の製品と良質なサービスを市場に提供するなど、様々な産業基盤を下支えする重要な役割を担っています。

しかし、どの産業に

おいても、原材料価格の高騰や慢性的な人材不足などに加えて、下請分業構造の流動化や元請企業による下請企業の選別や集約が進むなど、中小サプライヤー企業を取り巻く環境

を確保し、労働生産性の向上をはかることが当該労使の喫緊の課題でもあります。

また、恒常的な値引き要請や支払手形の長期化など、元請企業からの不合理な取引慣行

を認め合う社会を実現することが、わが国の経済成長につながるの認識に立ち、研究活動などに取り組んできました。

働き方改革、第4次産業革命など、これまでの経験したことのないような変化が待ち受けていますが、生産性三原則を柱とする全労生運動の推進によって、中小企業の発展と雇用の安定が実現することを願っています。

## 全労生への期待

は厳しさを増しています。加えて、人口減少と労働力の都市圏への一極集中が進み、地場中

も続くなど、中小企業の自助努力をはるかに超えたコストダウンを余儀なくされています。

チェーン全体の生産性と付加価値を高めていくことにつながりません。

中小企業対策部会では、公正な企業間取引によって中小サプライヤー企業が生み出した付加価値や労働の価値

の環境下にあっても、持続可能性の高い経済成長によって、働く者がいきいきと誇りをもって働ける職場づくりの実現に寄与すると確信しています。

小企業では慢性的な人材不足によって企業成長の機会を失っている

わが国の産業が、社会全体のニーズに応えるための高品質の製品

は、公正な企業間取引によって中小サプライヤー企業が生み出した

中小企業労使を取り巻く環境は、人材不足

最後に、2015年9月から2年間の短い期間ではありましたが、中小企業対策部会長として全労生運動に携わらせていただいたことで、貴重な経験と多くの仲間との出会いの機会を得たことに感謝します。

ことからの、良質な人材

やサービスを提供し続

付加価値や労働の価値

中小企業労使を取り

謝します。

わが国の産業が、社

会全体のニーズに応え

るための高品質の製品

やサービスを提供し続

付加価値や労働の価値